

令和 5 年度 病院事業決算状況

都道府県名 宮崎県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	宮崎病院	2
-	延岡病院	3
-	日南病院	4
宮崎市	宮崎市立田野病院	5
日南市	日南市立中部病院	6
小林市	小林市立病院	7
串間市	市民病院	8
えびの市	えびの市立病院	9
高原町	国保高原病院	10
都農町	都農町国民健康保険病院	11
椎葉村	椎葉村国民健康保険病院	12
美郷町	西郷病院	13
高千穂町	国保病院	14
日之影町	国保病院	15
五ヶ瀬町	国保病院	16

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名					
病院名		宮崎病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	100,580㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	459	75.5	75.7	70.4	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	35	74.9	68.3	49.6	
感染症	8	-	-	-	
計	502	74.2	74.0	67.8	
平均在院日数(一般病床のみ)		10.8	12.2	11.5	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				73,753,068	
1 固定資産				54,687,327	
(1) 有形固定資産				50,626,328	
(2) 無形固定資産				171,316	
(3) 投資その他の資産				3,889,683	
2 流動資産				19,065,741	
(1) 現金及び預金				2,468,126	
(2) 未収金及び未収収益				6,116,356	
(3) 貸倒引当金()				37,926	
(4) 貯蔵品				254,516	
3 繰延資産				-	
負債合計				71,611,147	
1 固定負債				46,085,166	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				40,664,850	
(2) その他の企業債				600	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				4,390,274	
(6) リース債務				1,029,442	
2 流動負債				20,239,720	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				4,415,141	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				1,272,543	
(6) リース債務				115,203	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				4,215,710	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				5,286,261	
(1) 長期前受金				46,076,849	
(2) 長期前受金収益化累計額()				40,790,588	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				2,141,921	
1 資本金				12,743,396	
2 剰余金				-10,601,475	
(1) 資本剰余金				110,476	
(2) 利益剰余金				-10,711,951	
負債・資本合計				73,753,068	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

設立団体の状況		
人口(人)	1,069,576	
決算規模(千円)	656,385,854	
標準財政規模(千円)	332,887,667	
財政力指数	0.34290	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	97.7

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,894,672	1,915,888
資本勘定繰入	1,022,775	1,022,775
計	2,917,447	2,938,663

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名					
病院名		延岡病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	35,262㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	406	63.6	68.4	68.7	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	4	-	-	-	
計	410	63.0	67.7	68.0	
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.5	11.6	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				73,753,068	
1 固定資産				54,687,327	
(1) 有形固定資産				50,626,328	
(2) 無形固定資産				171,316	
(3) 投資その他の資産				3,889,683	
2 流動資産				19,065,741	
(1) 現金及び預金				2,468,126	
(2) 未収金及び未収収益				6,116,356	
(3) 貸倒引当金()				37,926	
(4) 貯蔵品				254,516	
3 繰延資産				-	
負債合計				71,611,147	
1 固定負債				46,085,166	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				40,664,850	
(2) その他の企業債				600	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				4,390,274	
(6) リース債務				1,029,442	
2 流動負債				20,239,720	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				4,415,141	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				1,272,543	
(6) リース債務				115,203	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				4,215,710	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				5,286,261	
(1) 長期前受金				46,076,849	
(2) 長期前受金収益化累計額()				40,790,588	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				2,141,921	
1 資本金				12,743,396	
2 剰余金				-10,601,475	
(1) 資本剰余金				110,476	
(2) 利益剰余金				-10,711,951	
負債・資本合計				73,753,068	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,275,556	1,292,444
資本勘定繰入	1,253,887	1,253,887
計	2,529,443	2,546,331

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名					
病院名		日南病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透末訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,668㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	277	65.5	62.9	65.5	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	4	17.3	-	-	
計	281	64.9	62.0	64.6	
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	15.8	15.1	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				73,753,068	
1 固定資産				54,687,327	
(1) 有形固定資産				50,626,328	
(2) 無形固定資産				171,316	
(3) 投資その他の資産				3,889,683	
2 流動資産				19,065,741	
(1) 現金及び預金				2,468,126	
(2) 未収金及び未収収益				6,116,356	
(3) 貸倒引当金()				37,926	
(4) 貯蔵品				254,516	
3 繰延資産				-	
負債合計				71,611,147	
1 固定負債				46,085,166	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				40,664,850	
(2) その他の企業債				600	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				4,390,274	
(6) リース債務				1,029,442	
2 流動負債				20,239,720	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				4,415,141	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				1,272,543	
(6) リース債務				115,203	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				4,215,710	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				5,286,261	
(1) 長期前受金				46,076,849	
(2) 長期前受金収益化累計額()				40,790,588	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				2,141,921	
1 資本金				12,743,396	
2 剰余金				-10,601,475	
(1) 資本剰余金				110,476	
(2) 利益剰余金				-10,711,951	
負債・資本合計				73,753,068	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

設立団体の状況		
人口(人)	1,069,576	
決算規模(千円)	656,385,854	
標準財政規模(千円)	332,887,667	
財政力指数	0.34290	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	97.7

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	750,425	762,452
資本勘定繰入	631,862	631,862
計	1,382,287	1,394,314

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名		宮崎市			
病院名		宮崎市立田野病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,129㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	42	77.8	77.6	87.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	77.8	77.6	87.7
平均在院日数(一般病床のみ)		26.9	26.7	25.8

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		1,693,219		
1 固定資産		1,041,082		
(1) 有形固定資産		1,038,848		
(2) 無形固定資産		2,234		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		652,137		
(1) 現金及び預金		514,857		
(2) 未収金及び未収収益		137,294		
(3) 貸倒引当金()		14		
(4) 貯蔵品		-		
3 繰延資産		-		
負債合計		938,040		
1 固定負債		831,318		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		650,748		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		180,000		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		570		
2 流動負債		67,780		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		30,998		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		30,000		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		2,413		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		3,264		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		38,942		
(1) 長期前受金		55,452		
(2) 長期前受金収益化累計額()		16,510		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		755,179		
1 資本金		958,827		
2 剰余金		-203,648		
(1) 資本剰余金		11,180		
(2) 利益剰余金		-214,828		
負債・資本合計		1,693,219		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)			
区分	基準額	実繰入額	
収益勘定繰入	199,024	200,561	
資本勘定繰入	27,563	27,563	
計	226,587	228,124	

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	30.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：				
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。				

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名		日南市			
病院名		日南市立中部病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,377㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック透…人工透析I…ICU・CCU未…NICU・未熟児室訓…運動機能訓練室ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院臨…臨床研修病院が…がん診療連携拠点病院感…感染症指定医療機関へ…へき地医療拠点病院災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院	特…特定機能病院輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	88	66.1	67.0	60.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	88	66.1	67.0	60.2
平均在院日数(一般病床のみ)		15.9	19.2	18.6

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		1,922,965		
1 固定資産		1,581,331		
(1) 有形固定資産		1,580,738		
(2) 無形固定資産		593		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		341,634		
(1) 現金及び預金		129,158		
(2) 未収金及び未収収益		194,473		
(3) 貸倒引当金()		-		
(4) 貯蔵品		18,003		
3 繰延資産		-		
負債合計		1,556,624		
1 固定負債		987,872		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		782,316		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		205,556		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		329,307		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		171,885		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		83,009		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		73,499		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		239,445		
(1) 長期前受金		1,410,259		
(2) 長期前受金収益化累計額()		1,170,814		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		366,341		
1 資本金		525,144		
2 剰余金		-158,803		
(1) 資本剰余金		5,600		
(2) 利益剰余金		-164,403		
負債・資本合計		1,922,965		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

設立団体の状況		
人口(人)	50,848	
決算規模(千円)	34,672,071	
標準財政規模(千円)	15,576,859	
財政力指数	0.40	
経常収支比率(%)	91.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	57.7

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	262,205	422,690
資本勘定繰入	97,310	97,310
計	359,515	520,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名		串間市			
病院名		市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,589㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	99	76.6	59.6	61.0	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	99	76.6	59.6	61.0	
平均在院日数(一般病床のみ)		22.6	21.4	19.6	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				2,934,741	
1 固定資産				2,562,056	
(1) 有形固定資産				2,550,562	
(2) 無形固定資産				378	
(3) 投資その他の資産				11,116	
2 流動資産				372,685	
(1) 現金及び預金				104,384	
(2) 未収金及び未収収益				260,678	
(3) 貸倒引当金()				222	
(4) 貯蔵品				7,845	
3 繰延資産				-	
負債合計				3,889,984	
1 固定負債				2,707,131	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,424,251	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				1,020,600	
(5) 引当金				240,906	
(6) リース債務				21,374	
2 流動負債				456,043	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				178,091	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				100,000	
(5) 引当金				60,855	
(6) リース債務				10,778	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				104,269	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				726,810	
(1) 長期前受金				1,795,500	
(2) 長期前受金収益化累計額()				1,068,690	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				-955,243	
1 資本金				543,019	
2 剰余金				-1,498,262	
(1) 資本剰余金				356,947	
(2) 利益剰余金				-1,855,209	
負債・資本合計				2,934,741	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				955,243	
資本不足額(繰延収益控除後)()				228,433	
備考					

設立団体の状況		
人口(人)	16,822	
決算規模(千円)	16,104,228	
標準財政規模(千円)	6,870,261	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	38.6

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	255,172	255,172
資本勘定繰入	88,338	456,738
計	343,510	711,910

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	286,660	17.3
令和3年度	227,033	13.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	108.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考:	「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
-----	--

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名		えびの市			
病院名		えびの市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,456㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	50	55.6	50.6	56.0	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	50	55.6	50.6	56.0	
平均在院日数(一般病床のみ)		30.6	29.2	31.2	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				1,044,336	
1 固定資産				502,703	
(1) 有形固定資産				501,254	
(2) 無形固定資産				1,425	
(3) 投資その他の資産				24	
2 流動資産				541,633	
(1) 現金及び預金				456,672	
(2) 未収金及び未収収益				74,554	
(3) 貸倒引当金()				264	
(4) 貯蔵品				9,671	
3 繰延資産				-	
負債合計				616,394	
1 固定負債				325,497	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				-	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				325,497	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				245,955	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				-	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				39,346	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				204,253	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				44,942	
(1) 長期前受金				137,756	
(2) 長期前受金収益化累計額()				92,814	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				427,942	
1 資本金				1,159,548	
2 剰余金				-731,606	
(1) 資本剰余金				3,153	
(2) 利益剰余金				-734,759	
負債・資本合計				1,044,336	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	219,050	219,050
資本勘定繰入	90,426	90,426
計	309,476	309,476

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	146.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	720,145				
1 経常収益	720,145				
(1) 医業収益	513,673				
(うち修正医業収益)	452,842				
入院収益	245,775				
外来収益	185,137				
診療収入計	430,912				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	82,761				
(うち他会計負担金)	60,831				
(2) 医業外収益	206,472				
(うち国・都道府県補助金)	37,025				
(うち他会計補助・負担金)	158,219				
(うち長期前受金戻入)	9,166				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	871,113				
2 経常費用	871,113				
(1) 医業費用	832,627				
職員給与費	526,329	102.5	58.7	78.7	
材料費	116,705	22.7	26.9	14.5	
(うち薬品費)	94,232	18.3	14.8	7.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,429	4.0	11.7	6.1	
減価償却費	38,748	7.5	8.5	11.8	
経費	150,192	29.2	21.5	32.3	
(うち委託料)	87,033	16.9	11.5	15.3	
研究研修費	485				
資産減耗費	168				
(2) 医業外費用	38,486				
(うち支払利息)	90	-	0.9	1.1	
(3) 特別損失	-				
損益	経常損益	-150,968			
	純損益	-150,968			
累積欠損金	750,335				
経常収支比率	82.7		96.5	96.4	
医業収支比率	61.7		86.0	72.4	
修正医業収支比率	54.4		83.2	68.2	
他会計繰入金対経常収益比率	30.4		11.5	24.2	
他会計繰入金対医業収益比率	42.6		13.7	34.4	
他会計繰入金対総収益比率	30.4		11.5	24.2	
実質収益対経常費用比率	57.5		85.4	73.0	

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名		高原町			
病院名		国保高原病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,051㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	56	52.3	42.4	46.4	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	56	52.3	42.4	46.4	
平均在院日数(一般病床のみ)		29.7	27.4	26.4	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				1,094,260	
1 固定資産				985,096	
(1) 有形固定資産				984,836	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				260	
2 流動資産				109,164	
(1) 現金及び預金				32,734	
(2) 未収金及び未収収益				80,597	
(3) 貸倒引当金()				10,370	
(4) 貯蔵品				6,203	
3 繰延資産				-	
負債合計				922,334	
1 固定負債				686,001	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				629,720	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				56,281	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				157,850	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				54,770	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				37,104	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				30,000	
(8) 未払金及び未払費用				35,976	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				78,483	
(1) 長期前受金				463,539	
(2) 長期前受金収益化累計額()				385,056	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				171,926	
1 資本金				32,012	
2 剰余金				139,914	
(1) 資本剰余金				3,898	
(2) 利益剰余金				136,016	
負債・資本合計				1,094,260	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	232,376	232,376
資本勘定繰入	27,833	27,833
計	260,209	260,209

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名		都農町			
病院名		都農町国民健康保険病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,978㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救感		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	61	58.8	43.0	43.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	33.3	125.1	45.3
計	65	57.2	48.0	43.8
平均在院日数(一般病床のみ)		23.6	14.7	10.7

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		2,799,561		
1 固定資産		1,661,411		
(1) 有形固定資産		1,661,411		
(2) 無形固定資産		-		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		1,138,150		
(1) 現金及び預金		1,010,198		
(2) 未収金及び未収収益		111,617		
(3) 貸倒引当金()		620		
(4) 貯蔵品		16,955		
3 繰延資産		-		
負債合計		2,083,756		
1 固定負債		1,506,907		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		1,272,971		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		233,936		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		210,859		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		77,066		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		36,721		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		97,072		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		365,990		
(1) 長期前受金		1,173,063		
(2) 長期前受金収益化累計額()		807,073		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		715,805		
1 資本金		376,460		
2 剰余金		339,345		
(1) 資本剰余金		40,469		
(2) 利益剰余金		298,876		
負債・資本合計		2,799,561		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	167,316	167,316
資本勘定繰入	73,928	73,928
計	241,244	241,244

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,191,569			
1 経常収益	1,191,569			
(1) 医業収益	835,776			
(うち修正医業収益)	797,922			
入院収益	430,727			
外来収益	287,040			
診療収入計	717,767			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	118,009			
(うち他会計負担金)	37,854			
(2) 医業外収益	355,793			
(うち国・都道府県補助金)	151,198			
(うち他会計補助・負担金)	129,462			
(うち長期前受金戻入)	68,132			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,127,117			
2 経常費用	1,127,117			
(1) 医業費用	1,089,682			
職員給与費	643,339	77.0	58.7	78.7
材料費	95,278	11.4	26.9	14.5
(うち薬品費)	31,214	3.7	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	53,135	6.4	11.7	6.1
減価償却費	109,593	13.1	8.5	11.8
経費	239,533	28.7	21.5	32.3
(うち委託料)	108,459	13.0	11.5	15.3
研究研修費	1,939			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	37,435			
(うち支払利息)	5,290	0.6	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	64,452		
	純損益	64,452		
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.7		96.5	96.4
医業収支比率	76.7		86.0	72.4
修正医業収支比率	73.2		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	14.0		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	20.0		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	14.0		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	90.9		85.4	73.0

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名		椎葉村			
病院名		椎葉村国民健康保険病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,173㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄		ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療			
指定病院の状況欄		救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院			
		地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	30	40.1	35.9	49.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	40.1	35.9	49.4
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	16.0	17.0

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		1,076,730		
1 固定資産		514,349		
(1) 有形固定資産		514,349		
(2) 無形固定資産		-		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		562,381		
(1) 現金及び預金		503,857		
(2) 未収金及び未収収益		57,475		
(3) 貸倒引当金()		252		
(4) 貯蔵品		1,300		
3 繰延資産		-		
負債合計		214,871		
1 固定負債		-		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		-		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		61,626		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		30,890		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		19,216		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		10,423		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		153,245		
(1) 長期前受金		325,599		
(2) 長期前受金収益化累計額()		172,354		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		861,859		
1 資本金		1,130,245		
2 剰余金		-268,386		
(1) 資本剰余金		26,629		
(2) 利益剰余金		-295,015		
負債・資本合計		1,076,730		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	162,000	162,000
資本勘定繰入	22,114	22,114
計	184,114	184,114

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	93.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考:	「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
-----	--

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名		美郷町			
病院名		西郷病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,868㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	29	56.6	60.1	69.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	29	56.6	60.1	69.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.5	15.6	18.0

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		1,000,786		
1 固定資産		535,383		
(1) 有形固定資産		534,786		
(2) 無形固定資産		224		
(3) 投資その他の資産		373		
2 流動資産		465,403		
(1) 現金及び預金		390,444		
(2) 未収金及び未収収益		69,302		
(3) 貸倒引当金()		-		
(4) 貯蔵品		5,657		
3 繰延資産		-		
負債合計		401,155		
1 固定負債		134,442		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		134,442		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		71,923		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		23,266		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		28,918		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		18,587		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		194,790		
(1) 長期前受金		367,772		
(2) 長期前受金収益化累計額()		172,982		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		599,631		
1 資本金		718,623		
2 剰余金		-118,992		
(1) 資本剰余金		-		
(2) 利益剰余金		-118,992		
負債・資本合計		1,000,786		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	224,220	224,220
資本勘定繰入	30,828	26,881
計	255,048	251,101

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名		高千穂町			
病院名		国保病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,588㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	120	69.0	84.0	91.4	
療養	-	-	71.8	76.3	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	120	69.0	77.9	83.9	
平均在院日数(一般病床のみ)		22.3	25.3	23.6	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				3,217,006	
1 固定資産				2,317,000	
(1) 有形固定資産				2,241,593	
(2) 無形固定資産				378	
(3) 投資その他の資産				75,029	
2 流動資産				900,006	
(1) 現金及び預金				589,537	
(2) 未収金及び未収収益				294,389	
(3) 貸倒引当金()				239	
(4) 貯蔵品				16,319	
3 繰延資産				-	
負債合計				1,869,246	
1 固定負債				649,145	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				646,717	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				2,428	
2 流動負債				424,002	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				168,298	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				72,785	
(6) リース債務				14,566	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				161,969	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				796,099	
(1) 長期前受金				1,486,744	
(2) 長期前受金収益化累計額()				690,645	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				1,347,760	
1 資本金				709,930	
2 剰余金				637,830	
(1) 資本剰余金				282,947	
(2) 利益剰余金				354,883	
負債・資本合計				3,217,006	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	302,059	149,767
資本勘定繰入	163,863	150,233
計	465,922	300,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名		日之影町			
病院名		国保病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,378㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	-	-	58.2	66.6	
療養	50	74.1	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	50	74.1	58.2	66.6	
平均在院日数(一般病床のみ)		-	22.0	21.3	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				1,154,646	
1 固定資産				727,530	
(1) 有形固定資産				702,741	
(2) 無形固定資産				111	
(3) 投資その他の資産				24,678	
2 流動資産				427,116	
(1) 現金及び預金				317,434	
(2) 未収金及び未収収益				108,810	
(3) 貸倒引当金()				-	
(4) 貯蔵品				872	
3 繰延資産				-	
負債合計				457,804	
1 固定負債				268,012	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				267,151	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				861	
2 流動負債				94,090	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				46,110	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				23,072	
(6) リース債務				861	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				23,537	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				95,702	
(1) 長期前受金				192,973	
(2) 長期前受金収益化累計額()				97,271	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				696,842	
1 資本金				605,738	
2 剰余金				91,104	
(1) 資本剰余金				1,801	
(2) 利益剰余金				89,303	
負債・資本合計				1,154,646	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	202,278	202,278
資本勘定繰入	28,182	15,423
計	230,460	217,701

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	701,907				
1 経常収益	701,904				
(1) 医業収益	507,989				
(うち修正医業収益)	473,272				
入院収益	263,322				
外来収益	182,567				
診療収入計	445,889				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	62,100				
(うち他会計負担金)	34,717				
(2) 医業外収益	193,915				
(うち国・都道府県補助金)	6,848				
(うち他会計補助・負担金)	167,561				
(うち長期前受金戻入)	17,170				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	3				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	712,002				
2 経常費用	698,515				
(1) 医業費用	674,976				
職員給与費	386,045	76.0	58.7	78.7	
材料費	98,529	19.4	26.9	14.5	
(うち薬品費)	82,160	16.2	14.8	7.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,369	3.2	11.7	6.1	
減価償却費	60,417	11.9	8.5	11.8	
経費	129,361	25.5	21.5	32.3	
(うち委託料)	60,394	11.9	11.5	15.3	
研究研修費	624				
資産減耗費	-				
(2) 医業外費用	23,539				
(うち支払利息)	3,519	0.7	0.9	1.1	
(3) 特別損失	13,487				
損益	3,389				
純損益	-10,095				
累積欠損金	-				
経常収支比率	100.5		96.5	96.4	
医業収支比率	75.3		86.0	72.4	
修正医業収支比率	70.1		83.2	68.2	
他会計繰入金対経常収益比率	28.8		11.5	24.2	
他会計繰入金対医業収益比率	39.8		13.7	34.4	
他会計繰入金対総収益比率	28.8		11.5	24.2	
実質収益対経常費用比率	71.5		85.4	73.0	

備考:

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名		五ヶ瀬町			
病院名		国保病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,771㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	36	43.4	52.5	56.8
療養	18	84.1	72.7	74.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	56.9	59.3	62.6
平均在院日数(一般病床のみ)		18.9	21.9	18.3

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		1,060,223		
1 固定資産		690,269		
(1) 有形固定資産		689,398		
(2) 無形固定資産		871		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		369,954		
(1) 現金及び預金		297,051		
(2) 未収金及び未収収益		64,476		
(3) 貸倒引当金()		-		
(4) 貯蔵品		8,426		
3 繰延資産		-		
負債合計		511,882		
1 固定負債		190,728		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		190,728		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		122,924		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		54,781		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		38,566		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		29,562		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		198,230		
(1) 長期前受金		322,769		
(2) 長期前受金収益化累計額()		124,539		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		548,341		
1 資本金		248,796		
2 剰余金		299,545		
(1) 資本剰余金		357,832		
(2) 利益剰余金		-58,287		
負債・資本合計		1,060,223		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	166,589	310,000
資本勘定繰入	35,357	35,357
計	201,946	345,357

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。